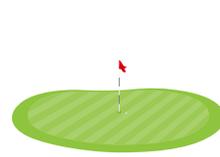


# ベントグリーンを夏越しさせる9つのSTEP



## STEP 0【総説】 サマーディクラインのメカニズムと、9つのステップ

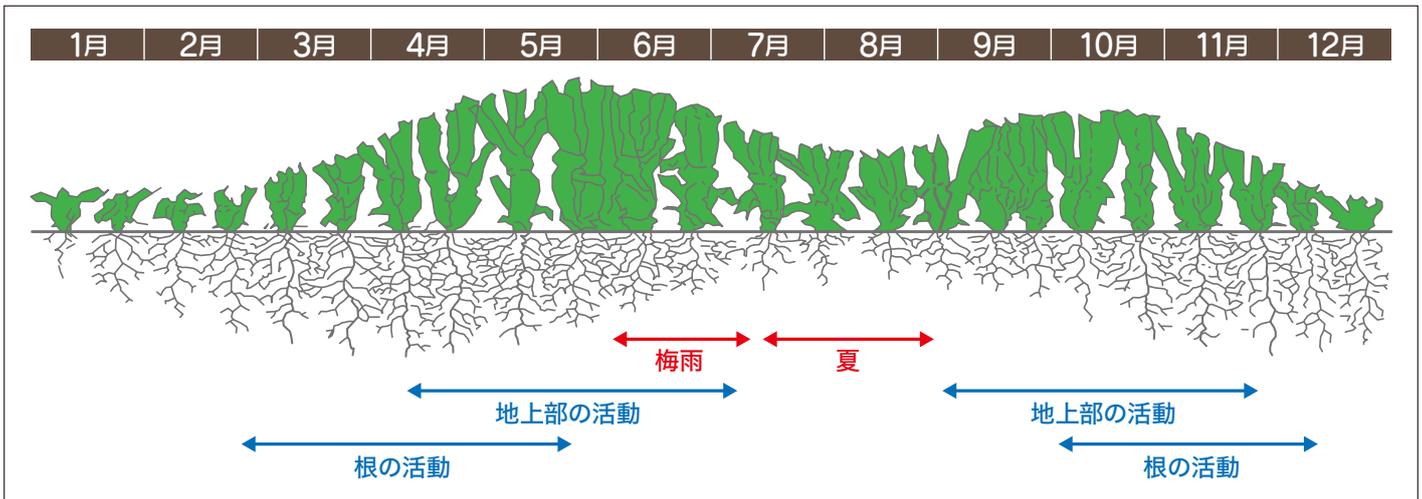
ベントグリーンを夏越しさせるためには、まず夏に落ち込む仕組みを理解し、年間計画を立てて生育ステージに合わせた対応をすることが必要になります。

### ベントグラスの夏落ちのメカニズム

ベントグラスは光合成で生産した炭水化物を使って、体の維持(呼吸)や生長を行います。すなわちベントグラスが生き延び、新しい根や葉を作るためには「炭水化物」が必要です。生産された炭水化物のうち呼吸や生長に使った余りは、貯蔵養分(非構造的炭水化物)として蓄積し、これが春秋の発根や萌芽の原動力になるとともに一時的な炭水化物不足の時の備えになります。ところが高温時には、光合成低下・呼吸増大・根の機能低下により貯蔵養分が消費され、やがては炭水化物が欠乏して根や葉が維持できなくなり、芝が痩せターフが薄くなって行きます。そこに排水不良や病害などのストレスが加わると、さらに衰退が進みます。

これがベントグラスのサマーディクライン(夏場の落ち込み)のメカニズムです。

### ■ベントグラスの生育の季節変化【模式図】

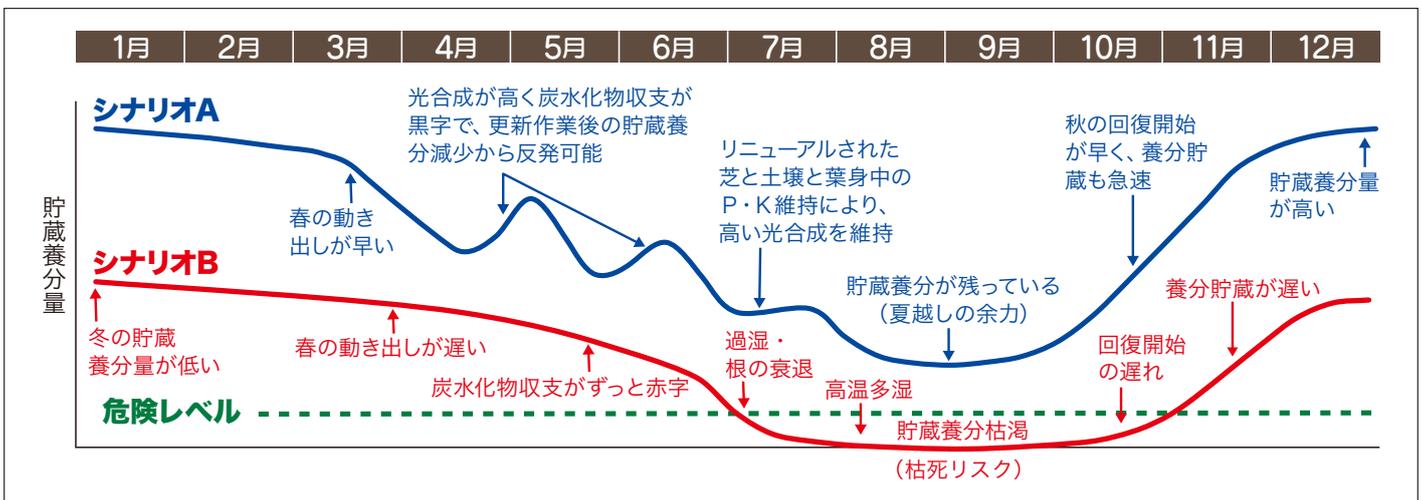


### ■貯蔵養分(非構造的炭水化物)の季節変化

貯蔵養分(ベントグラスの場合はフルクタン)のレベルが、炭水化物収支の目安となります。

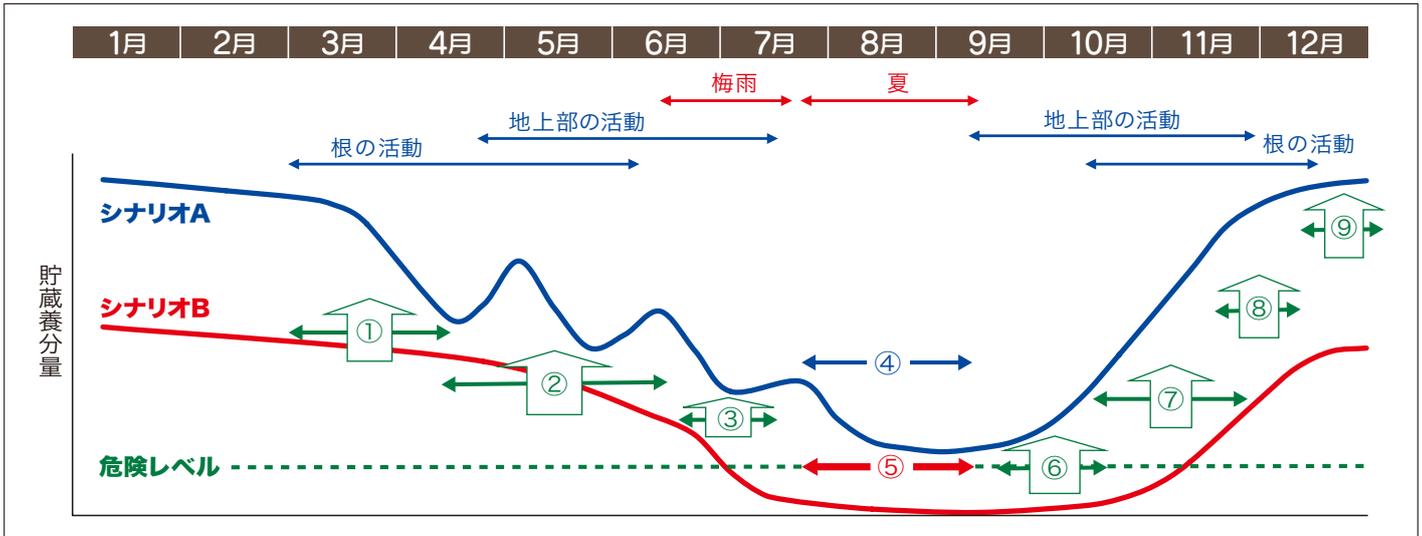
●夏に貯蔵養分が枯渇するシナリオBでは、夏に大きく落ち込むリスクが高く、秋の回復も遅い

●貯蔵養分を残した状態で夏を越えるシナリオAでは、夏落ちのリスクが軽減されます



## 最悪のシナリオから脱出する、9つのステップ

ベントグラスの夏落ちを防ぎ、すばやく回復させるためには、各生育ステージごとに、貯蔵養分の減少を防ぎ蓄積を促進するような、年間管理手法が必要です。



落ち込みにつながるシナリオBを、夏越しが可能なシナリオAへと変える9つのステップは、季節とベントグラスの状態に応じて、次のようになります。(番号は上図の矢印①～⑨に対応)

- STEP 1 【早春】 「春の一山」：発根の促進と窒素による地上部刺激
- STEP 2 【春】 「梅雨前に芝と土壌の若返り」：更新作業と施肥
- STEP 3 【梅雨】 「衰退を防ぎ、夏に備える」：窒素と土壌のコントロール
- STEP 4 【夏・シナリオA】 「夏と闘う」：光合成と根活性の維持
- STEP 5 【夏・シナリオB】 「弱りきったベントを守る」：ストレス軽減とサプリメント
- STEP 6 【初秋】 「すばやく回復を促す」：現状の見極めと対処
- STEP 7 【秋】 「本格回復期」：光合成・生長促進と土壌改善
- STEP 8 【晩秋】 「晩秋期施肥」：来年へ向けた養分貯蔵の促進
- STEP 9 【冬】 「春を待つ」：ストレス耐性と葉色のアップ

各ステップの具体的な対応策は、弊社のホームページでご確認ください。

「9つのステップ」を確実にこなすには、**葉身分析**による貯蔵養分や無機養分の確認をお奨めします。



### ▶ STEP 1へ進む

※葉身分析目標値：過去の分析結果から弊社が独自に設定した、時期毎の暫定目標値です。随時改訂しています。

東洋グリーンはベントグリーンの夏越しを応援します。



**東洋グリーン株式会社**

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8  
TEL.03-3249-7731(代表) FAX.03-3249-7781

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店  
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>